



ザルツブルクから見た、鳥取の芸術文化。

[テノール歌手]
インタビュー 藤田俊介さん

鳥取県鳥取市出身。2010年渡独し、現在はオーストリア・ザルツブルク在住。海外での活動の一方、地元・鳥取で市民オペラ『ムジークテアター・TOTTORI』という新風と共に、地域文化の活性化に取り組んでいる。ザルツブルクから寄せる鳥取への思いと、芸術文化についてお話を伺いました。

鳥取を代表するテノール歌手・藤田俊介さん(29歳)。私が藤田さんと出会ったのは、とあるイベントでの席でした。たまたま相席になり、気がつけば意気投合。掴みどころのない雰囲気の中に時折覗かせる屈託のない少年のような笑顔が印象的な藤田さん。“とリアート”と同じく県民・市民の皆さんとの共働“で創りあげる“市民オペラ”という舞台で活動する藤田さんのザルツブルクから寄せる鳥取への思いと、素顔も少しご紹介出来ればと思います。

通信隊員 I 音楽を始めようと思ったきっかけは?
藤田さん 高校時代に、テレビでお笑い芸人・ナインティナインの岡村隆史さんが、ミュージカルの『ライオンキング』に挑戦するという企画を見たのがきっかけでした。ふざけていると思われるかもしれませんが、彼の姿に感銘を受けました。もっとも影響を与えてくれた方でもあります。

通信隊員 I 渡独しようと思ったきっかけは?
藤田さん 以前、高校の非常勤講師として勤務していた時に、自分の人生について思う時間がありました。「果たしてやりたいことはこれなのか？」そう考える自分と妻の留学がタイミングよく繋がったのがきっかけです。
通信隊員 I 絶妙のタイミングで重なったんですね。では、ザルツブルクから見た、日本、鳥取の芸術文化は?
藤田さん 芸術・音楽という分野に特化して言えば、まだまだ保守的。ヨーロッパでは経歴や人脈、派閥などは

関係なく、実力のある者は、たとえ昨日まで路上のバイオリン弾きであった人でも評価される舞台が多様に用意されています。鳥取にはそういった舞台が少ないと感じています。
通信隊員 I 同感です。舞台はあってもうまく活用されていないようにも思いますが、いかがですか?
藤田さん はい、実力のある人たちが、誰でも平等に学び、起用、発表できる。人を育てるとはそういった事だと感じています。その為にもっと活用の術を考えていく必要があると感じています。

通信隊員 I 藤田さんが大切にしているもの、又はフィーリングはなんですか?
藤田さん 平等さ、フラットでいることです。外国ではあらゆる場面で常に自己が試されていると感じます。そんな中でいかに平等でいられるか。しかし、これは「自分の意思を持たない」という意味ではありません。
通信隊員 I 「冷静かつ客観性を持って接していく」と解釈してかまいませんか?
藤田さん はい、常にフラットでいること。これが一番難しいと思っています。



通信隊員 I のファーストインプレッション、物静かで冷静沈着。ちょっと近寄りたいたい雰囲気かな?



ドイツで知り合った友人と一緒に



オフの日には近所のホールでドイツピアとワインとチーズが楽しみの藤田さん。ちなみに大好物はカレーライス!(笑)

通信隊員 I 鳥取の芸術文化を向上させるために、若手の育成はもちろん、古いものを壊す勇氣と新しい風。世界の舞台を踏む藤田さんなら文化の逆輸入、鳥取の文化芸術の新たな火付け役になってくださることでしょね。

(2013年8月6日 和風カフェ 香豊堂にて)

取材を終えて
藤田さんへのインタビューは、気がつけば4時間半という時間が流れていました。その中身はとても濃い内容で、すべてをご紹介出来ないのが非常に残念であります。
しかし印象的なのは、“芸術家”と称される藤田さんの中に、“芸術家”という自負を感じなかったことです。藤田さんは「がむしゃらになって音楽家になったのではなく、ほんの少し良かった運とただ大好きな音楽を楽しみ、それを思うがままに実行しただけ」と言います。音楽も声楽も生きていく手段の一つ、経験として捉える藤田さんのフラットな姿勢に共感しました。私が感じたこと、100%よりも20パーセントの余力を大切に。余力がなければ、フラットでいることは難しいですね。

平成27年度メイン事業

オペラ『魔笛』公演 キャスト&合唱団募集!

“県民の手で創る、最高のオペラ”を目指して準備が進んでいる、平成27年度とリアートメイン事業「オペラ『魔笛』公演(仮称)」では、ただいまキャスト&合唱団を大募集しています! モーツァルトの比類なき美しい音楽性の集大成とも言える「オペラ『魔笛』」。あなたも可能性に挑んでみませんか?

《募集概要》

キャスト ザラストロ(バス)、夜の女王(ソプラノ)、王子タミーノ(テノール)他多数

合唱団 30~50名

応募締切 平成26年4月30日(水)

オーディション 平成26年7月5日(土)14:00~ 倉吉未来中心 リハーサル室にて

お問合せ とリアートオペラ公演実行委員会事務局 ☎0858 (23) 6095

E-mail: figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp ホームページ: http://tottori-opera.sakura.ne.jp/09.html



読者プレゼント

「鳥取・まちパル鳥取で見つけました」

鳥取市国際観光物産センター「まちパル鳥取」で見つけた東部のおいしいものですよ。

抽選で合計5名さまにプレゼント!

応募方法/ハガキ・メール・FAXに次の項目・内容を明記の上、下記宛先までお送りください。

- ①お名前 ②郵便番号&ご住所 ③年齢 ④性別 ⑤電話番号 ⑥感想&ご意見

なお、お寄せいただいたご感想等は今後のとリアート通信に掲載させていただく場合がございます。

応募先/〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 (とりぎん文化会館内)
鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局
E-mail: toriart@torikenmin.jp
FAX: 0857 (21) 8705

応募締切/2014年2月28日(金)消印・到着分有効

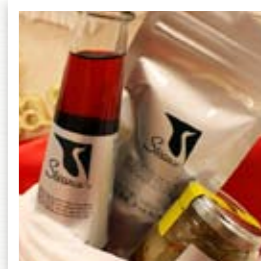
2名様
桜ごはん

鳥取市河原町の食材を使ったこだわりの一品です。



3名様
因幡の
大国様セット

赤しそシロップ、赤しそ茶、砂丘らっきょうピクルスの詰め合わせです。



編集後記

新年・明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、心も体もリフレッシュと言いたいところですが寒い季節は大の苦手の編集部員であります。

さて新生☆とリアート通信Vol.2、改めて編集作業の難しさを感じております。多種多様な文化活動者の皆さまの言葉をいかに心を込めて公平に伝えていくべきか。言葉の大切さ、そしてそこには

公平かつ文化に携わるものとしての思いも添えていかねばなりません。改めて伝えることの難しさを感じております。

感じる・伝える・形にする。私達編集部のおいちはココから今年も始まります。みなさん今年も宜しくお願いします。

広報部会委員 いのうえひろ

次号予告

◎とリアート2013西部地区イベントレポート ◎人~HITO~ ◎街中アート THE RESIDENCE

他の内容でお届けします! ※内容等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

次号は2014年3月発行を予定しています。

とリアート通信 VOL.2 JANUARY 2014

●発行日—2014年1月25日 ●編集—とリアート広報部会
●発行—鳥取県総合芸術文化祭実行委員会 事務局 (財団法人鳥取県文化振興財団内)
TEL.0857-21-8700 FAX.0857-21-8705 MAIL.toriart@torikenmin.jp



http://www.artsfriend.com/toriart/



世界を舞台に活躍!